

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公開番号】特開2007-333814(P2007-333814A)

【公開日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-050

【出願番号】特願2006-162805(P2006-162805)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

B 6 5 H 7/06 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 5 0 0

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 3 G 15/00 5 2 6

B 6 5 H 7/06

H 0 4 N 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月12日(2009.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー像を記録媒体上に定着させる定着手段を有する画像形成装置において、
前記定着手段の下流側に設けられ、記録媒体を検知するセンサと、
前記センサが所定のタイミングで前記記録媒体を検知していないことにより記録媒体の
ジャムを検知するジャム検知手段と、
前記定着手段の取り外し及び装着を検知する定着着脱検知手段と、
前記ジャム検知手段により前記ジャムが検知された場合、前記ジャムが発生したことを
記憶する記憶手段と、
前記ジャム検知手段により前記ジャムが検知された場合において、前記定着着脱検知手
段により前記定着手段の取り外しと装着とが検知されたことを前記ジャムが解除されたこ
との判定の条件とし、前記ジャムが解除されたと判定すると前記記憶手段の記憶を消去す
るジャム解除手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記ジャム解除手段は、前記ジャム検知手段により前記ジャムが検知された後に前記画
像形成装置の電源がオフされ、再びオンされた場合でも、前記定着着脱検知手段により前
記定着手段の取り外しと装着とが検知されたことが検知されないと、前記記憶手段の記憶
を消去しないことを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記画像形成装置のドアの開閉を検知する開閉検知手段を更に有し、
前記ジャム解除手段は、前記開閉検知手段により前記ドアが開かれたことが検知され、

前記定着着脱検知手段により前記定着手段の取り外しと装着とが検知され、前記開閉検知手段により前記ドアが閉じられたことが検知されたことを、前記ジャムが解除されたことの判定の条件とすることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成する本発明に係る画像形成装置は、トナー像を記録媒体上に定着させる定着手段を有する画像形成装置において、

前記定着手段の下流側に設けられ、記録媒体を検知するセンサと、

前記センサが所定のタイミングで前記記録媒体を検知していないことにより記録媒体のジャムを検知するジャム検知手段と、

前記定着手段の取り外し及び装着を検知する定着着脱検知手段と、

前記ジャム検知手段により前記ジャムが検知された場合、前記ジャムが発生したことを記憶する記憶手段と、

前記ジャム検知手段により前記ジャムが検知された場合において、前記定着着脱検知手段により前記定着手段の取り外しと装着とが検知されたことを前記ジャムが解除されたことの判定の条件とし、前記ジャムが解除されたと判定すると前記記憶手段の記憶を消去するジャム解除手段と、

を有することを特徴とする。